

平成24年度 第3回図書館協議会会議 会議録要旨

	平成25年3月14日(木) 14:00～16:00
	会 場 : 市立図書館 会議室
出席者:(委員)	乙犬委員・宮川委員・高秀委員・平井委員 近藤委員・宮崎委員 (清水委員欠席)
(事務局)	中井次長・内藤課長・山下主査・谷口主査・黒氏主査 (記録:山下)

※この会議録はICレコーダーの録音を筆記したものを要約しています。

1. 開 会

2. 挨拶

事務局

皆さんこんにちは、今年度最後の第3回図書館協議会を始めます。次第に沿いまして会長よりご挨拶をお願いします。

会 長

平成24年度最後の図書館協議会です。協議事項、報告事項、その他とありますので、限られた時間の中でご意見を頂ければと思っています。

3. 議 題 (事務局 説明)

1) 恵庭市人とまちを育む読書条例記念事業について

・読書のまちづくり先進地視察報告

① 長野県小布施町

② 財団記念財団(東京都港区)

○質疑・意見交換(要旨)

会 長 まちじゅう図書館は市民の人たちの小さいながらも継続的な本を通じて人のつながりを目的とし、実際に応募するなり、図書館側からお願いする動きが最初に出てこないといけないのでは。

事務局 声かけをして参加をお願いするところから始まると思っています。

委 員 身近なところで本棚はあるが、余っている本が流れてきているイメージがする。設置の条件にあったが想い入れのある本が並んでいるわけではない、コミュニティのツールとして本を使うのはアイデアとして成り立つと思うが難しいと感じる。

事務局 10店舗を視察してきたが、待っている時間にお店にフラッと寄った時に、そこで本を読んで借りることが出来る、本の並べ方の工夫やノートを置いたり様々な工夫がされて自分たちの店舗でやりたいように工夫されていました。

委 員 実施しようとする狙いが見えてこない。実際に話が出たように色々あるが、本に親しむ機会というよりも、読書環境を整えるためのものなのか、恵庭市が読書のまちだとPRしたいのか、どこに狙いがあるのか。

会 長 今の意見とつながっていると思うが、コミュニティツールとして利用する人間関係のつながりのひとつの方法として本を利用するということか。

事務局 どこの店舗に行ってもその店舗に目的があり店主に人となりを見せる本が置いてあり、

その本と出会い、また次の本に向かっています。まちじゅう図書館は読んだ人同士が話せる環境になれば良いというのが最終的な目標で、恵庭市として読書条例制定記念の中で本に接する機会が多くなってきっかけ作りになるような事業をまずしたい。

会 長 花の街、恵庭を宣伝と同時に図書をそこにうまく組み込んでいったりすると成功が見えてくる感じがします。

事 務 局 花のオープンガーデンが非常にうまくいってますので、そういったところを利用したらと考えていますが、恵庭の特性の中でどう取り入れたらいいかは、皆さんのご意見をお聞きして検討したい。

会 長 恵庭市人とまちを育む読書条例は、人とまちを育んでいくコミュニティをより豊かにしていく、そのための本の町としてのイメージをどうこれから創りあげていくか。

委 員 人の集まる場所に本があるというだけで、人間関係が生まれるという可能性があるか。

事 務 局 可能性があると見てきました。

会 長 今迄やってきた事をさらに充実、展開した方が恵庭市には相応しいのではないか。

事 務 局 小布施のまちじゅう図書館は、全てオープンガーデンの加盟店で、いろいろな方に来ていただいている。

会 長 図書なら図書だけでなく、図書と花と何かお互いに相乗効果が出てきます。

委 員 個人的にイメージすると、ガソリンスタンド、床屋、歯医者、病院等で待ち時間に週刊誌やマンガ等読みます、その一環として図書を扱っている店を紹介し、つなげて意識を高めたいというイベントをやってみようという事ですね。

事 務 局 小布施も規則とか実施要領も何もない中でスタートしてます、これからいろいろと規則を作るかどうかというところから検討を始めると言っていました。

会 長 森記念財団はどうですか。

事 務 局 森記念財団の磯井さんは大阪府立大学図書館に行ってまちライブラリーの実践をやってみたり、教育機関があれば行って、まちライブラリーの仕掛けを作ってきたりしています。

会 長 ワールドカフェはどういうことであげていますか。

事 務 局 ワールドカフェは結論を出さないデスカッションの場で、一つのテーマでグループを作り話し合った後、席替えをして同じテーマで話し合い、最後に全体交流で意見を出し合う場です。

会 長 ワークショップとはどう違いますか。

事 務 局 ワークショップは指導者が一人いて、その人の指導のもとでテーマを話し合い、一定の方向性を出していきます。結論を出さなくても同じメンバーで話し合っって一つのテーマに集中して全体で話し合っって決めていきます。

委 員 図書館の駐車場は狭い、図書館するのはどうか。

事 務 局 土日であれば北海道ハイテクノロジー専門学校にお願いしてスペースの確保は出来ると思います。多くの方が来るようなイベントではなく実務的な話し合いになるのかと思います。

会 長 読書推進月間記念イベントは具体的にどうなのか。

事 務 局 図書館と信頼関係があったり繋がりがあったり、図書館員が知っている方に声をかけて始めたいと思います。

会 長 札幌でもお茶コーナーを併設した書店がありますね。

事 務 局 恵庭市内の書店も何店かありますが、スポットで本と出合うのが困難な場所がいくつかあ

委員 事業としてやるのであれば、息が長く無理せず、じわじわと浸透していく考えであればいい。

会長 イベントの件はこれでよろしいでしょうか。シンボルマークと標語ですが、いいんじゃないですか。

事務局 学校にご協力頂きたいと思います。

4. 報告事項（事務局 説明）

1) 図書館窓口等業務委託実施状況評価（上半期）について（別添会議資料により内藤課長説明）

平成24年度4月から9月の図書館窓口等業務委託実施状況評価 総合評価B

2) 平成25年度図書館関連予算について（別添会議資料により谷口主査説明）

図書館予算費205,166千円

市立図書館費142,048千円 学校図書館費63,118千円

主な事業費

小学校図書館運営事業22,527千円 中学校図書館運営事業16,231千円

図書館窓口等業務委託52,726千円 図書館・学校図書館
システム更新事業費 56,175千円

児童施設図書購入事業 553千円 図書館図書購入事業 16,844千円

読書条例制定記念事業 1,212千円 施設管理業務委託事業19,893千円

光熱水費・施設整備等 事業 2,407千円

事業 11,875千円

5. その他（事務局 説明）

1) 高齢者等図書宅配サービス試行実施報告書

平成23年度試行実施内容

年 度	平成23年度	平成24年度
①実施期	平成23年12月20日（火） ～平成24年2月29日（水）	平成24年8月1日（水） ～平成24年8月31日（金）
②対象者	図書館利用者登録済みの65歳 以上の高齢者及び障がいをお持ちの方	図書館利用者登録済みの65歳 以上の高齢者及び障がいをお持ちの方
③貸出 期間	3週間	3週間
④受付 方法	図書館本館に電話により申込む	図書館本館に電話により申込む
⑤宅配 方法	日本郵便(株)ゆうメール	日本郵便(株)ゆうメール
⑥宅配 送料	貸出・返却とも市負担	貸出・返却とも市負担
⑦利用 者数	4人	14人

⑧アンケート 回収数	4 件（回収率 100%）	14 件（回収率 100%）
---------------	---------------	----------------

2) 恵庭市ブックスタート事業

平成 23 年度図書館における児童書の貸出冊数

児童書	絵 本	紙芝居	合 計
93,789	96,890	3,196	193,875

平成 23 年度健診実績の推移

3・4 か月児健診受診率	9・10 か月児健診受診率	1 歳 6 か月児健診受診率
97.0%	98.2%	98.1%

平成 24 年度ブックスタート予算 862,200 円

3) 恵庭市ブックスタートプラス事業

平成 24 年度ブックスタートプラス予算 660,600 円

会 長 全体を通して、ご意見、ご質問はありませんか。以上をもちまして協議会を終了いたします。

6. 閉会

(午後 4 時 終了)